令和7年度 豊島区立豊成小学校 学校経営方針

校長 堀谷 援

I 豊成小学校教育目標

人権尊重の精神を常に心に刻み、地球規模で物事を考え、コミュニケーション能力を伸ばし、心身ともに強く、たくましく生きる児童を育てる。

○ (ほ) 本気の学び ◎ (う) 美しい心 ○ (せ) 世界に広がる ○ (い) いっぱいの夢

教育目標の実現に向け「豊島区教育ビジョン 2025」を教育活動に生かす。

2 めざす学校像

教育目標の実現を図りつつ、児童にとって、教職員にとって<u>「安心して成長できる学校」</u>そして、保護者および地域の方にとって通わせてよかった、あってよかったと思える学校づくりを目指す。

- 3 教育目標の実現と自分の居場所だと思える学校づくりに向けて
- (1) 児童が「安心して成長できる」ために

<豊かな心を育む>

① 「美しい心」の育成

「美しい心」とは社会を構成する一人として、互いに相手に敬意を払い、互いの存在の尊さを 認められる感性であり、学校や社会でのウェルビーイングを実現する根幹である。「美しい心」を 教育活動のあらゆる場面で涵養していくことで豊成小らしい一層温かな学校風土を醸成する。

また、教職員自らがロールモデルとして、何よりも児童の人権を大切にしたポジティブな表現、 態度を実践することで学校全体の肯定感、有用感が高められるようにする。

本校は日本語学級を設置していることから、海外にルーツをもつ児童が多数在籍している。異文化を受け止める機会、多様性を認める価値観を育成するための機会に恵まれた環境を生かし、豊かな心と良好な人間関係を築く資質・能力を伸長する。

自分らしさが互いに尊重され、思いっきり表現できる場。それが安心して成長できる 学校である。その土台となるものが「美しい心」と考える。

②いじめ・不登校防止対策の推進

「いじめの定義」を全教職員が共通理解し、軽微ないじめも見逃さず、いじめの早期発見・対応を組織的に推進する。(早い、見える、分かりやすい対応)

また、登校することに抵抗を感じている児童に早期に対応し、保護者やスクールカウンセラー、 関係機関と連携し、児童の心に寄り添って最善を尽くす。

③学習規律・生活規律の確立

「豊成小 よい子の約束・学びの約束」について、全教職員・全児童の共通理解をし、年間を通してしっかりと身に付けさせるよう取り組んでいく。

④特別支援教育の充実

一人ひとりの児童の実態を踏まえ、保護者と共通理解のもと、特別支援教室や関係機関との連携を密にし、一人ひとりの特性に合わせた成長を目指す。互いの個性を認め合う心を醸成する。

⑤異年齢集団活動の充実

異学年交流活動などを通して、下級生を思いやる心、上級生を尊敬する心等を育成し、児童同士の関係の中で自己肯定感、自己有用感を感じられるようにする。

⑥「こどもスキップ豊成」との連携

情報交換を密にするとともに、スクールスキップサポーターとも連携して、いじめ問題の解消 等、一体となって児童の健全育成を図る。

⑦SDG s の学びの充実

外部人材、ゲストティーチャーと連携し、自分たち一人ひとりができることについての学びを 深めさせ、未来の担い手としての意識をもたせていく。

<学力・体力の充実>

①授業改善への組織的な取り組み

教職員同士が日常的に互いの授業を見合い、意見交換を通して授業改善を進める。また、全教職員が年間一つ以上の研究発表会や研修会、研究会へ参加する。

②ICT機器の積極的な活用

児童が「主体的・対話的で深い学び」を進めていけるよう、タブレット型PCを効果的に活用していく。

③読書の励行・学習情報センターの活用

図書館司書と連携し、読書に親しむ児童を育てる。学習情報センターを積極的に活用する。

④自分の健康や体力に関心をもつ

体育の授業を通して運動の楽しさを味わわせるとともに、全校で縄跳びやマラソンに取り組む機会を設け、体力の向上を図る。また、保健の学習や薬物乱用防止教室等をとおして、健康に気を付けて生活することができるようにする。

(2) 保護者が「通わせてよかった」、地域の方が「あってよかった」と思え学校とするために

①地域と触れ合い、地域に学ぶ

地域の中での校外学習等、地域のリソースを教育に結び付ける。

②保護者・PTAとの連携

創立70周年の節目を機に、より一層、学校・保護者・PTAが一体となった児童のための取組を推進する。

③安全教育の充実

安全教育(生活安全・交通安全・災害安全)について、保護者・地域と連携しながら、あらゆる 機会を通して、児童の危険予測・回避能力を高める。

④積極的な情報発信

「土曜公開」の機会を生かし、豊成小の取組、児童の成長を保護者・地域の方々に理解していただく。また、学校便り・学年便り・ホームページ等を通し、学校の様子を積極的に発信する。特にホームページは、タイムリーな情報掲載に努める。

(3) 教職員が「安心して成長できる」ために

① 互いを尊重し、主体的に行動する教職員

主幹教諭・指導教諭及び主任教諭がミドルリーダーとなり、教職員一人ひとりがそれぞれのよ さを発揮して、互いに認め合う組織体制を整備し、運営をしていく。

②人権尊重と服務の厳正

日々の授業、学級経営等において、児童に対する適切な配慮を行えるよう、適時、自身の人権感覚を見つめ直す機会を設定する。また、定期的な研修を通して、服務の厳正を徹底する。

③OJT の推進

豊島区教育委員会研究指定校として、日常的に授業を見合い、互いに刺激し合うシステム作り を研究すると共に、授業や指導上の悩みなどを互いに伝え合えるよう、OJTの充実を図る。

全教職員で全校の児童を育てていく。教職員一人一人の個性を尊重し、学年・学級の枠を越え、一丸となって教育活動を進めていく。